

令和7年第3回（6月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 佐渡市における農業の方向性と米不足への対応について問う</p> <p>(1) 米不足に伴う主食用米の増産</p> <p>① 2025年産の水田作物の作付意向調査の結果について</p> <p>② 調査により、主食用米増産に対し、新潟県農業再生協議会では各農業再生協議会に非主食用米への転換を働きかけているが、佐渡市農業再生協議会の対応は</p> <p>③ 令和8年以降の作付けに対して「作付面積の現状に関する調査」が行われたが、結果はどうなったか</p> <p>(2) 令和7年3月31日に策定した地域計画について問う</p> <p>① 地域計画の区域の状況の「区域内において、規模縮小などの意向のある農地」とは、どのような農地か</p> <p>② 「区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計」が空欄となっているが、なぜか</p> <p>③ 地域農業の現状及び課題で「分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物として飼料作物の栽培方法を検討」とあるが、どのような作物か</p> <p>④ 地域における農業の将来の在り方について、農地の集積・集約を進めるとともに、地域コミュニティの活性化のため、農業を担う者への農地の再分配を進める条件整備とは</p> <p>⑤ 「農業用施設を共同作業で維持管理し、改修、更新が必要な場合は早期に計画するように努める」とあるが、法人化が前提か。また、どのような施設か</p>	
1	<p>(3) 米不足による備蓄米緊急放出による低価格米は佐渡市で供給されるか。また、米高騰に対して食料困窮世帯への対応が必要ではないか</p> <p>2 マイナンバーカードの健康保険証について問う</p> <p>(1) 資格確認書の対応について</p> <p>① マイナ保険証に係るマイナンバーカードの年度更新状況について（更新者数や手続き等）</p> <p>② 資格確認書の交付対象者はどのような方か</p> <p>③ マイナ保険証の登録解除の方法と資格確認書への変更はどのようにするのか</p> <p>④ 75歳以上の後期高齢者や75歳未満の一定の障がいがある方の資格確認書はどのようになるか</p> <p>⑤ 健康保険証の廃止に伴う修学旅行等の学校行事や部活動の合宿・遠征等における児童・生徒本人の被保険者資格の確認方法について</p> <p>(2) 病院受診時における資格確認方法と各医療機関での対応状況について 各医療機関でマイナ保険証に対応した機械等の整備状況等</p> <p>(3) 災害時、救急医療時（救急搬送）のマイナ保険証の対応と課題について</p> <p>(4) 厚生労働省のパンフレットでは、マイナ保険証のメリットとして「過去のお薬・診療データに基づく、よりよい医療が受けられる」とあるが、ひまわりネットのように直近のデータは反映されているか</p> <p>(5) 東京都世田谷区と渋谷区は、マイナンバーカードに健康保険証の機能を載せたマイナ保険証を持っているかどうかにかかわらず、国民健康保険の加入者全員に健康保険証と同様に使える資格確認書を一齐に交付する。厚生労働省は、資格確認書の利用者を障害者など要配慮者に限定しており、</p>	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>国と自治体で見解が異なる事態が生じているため、佐渡市も交付すべきではないか</p> <p>3 両津地区における医療福祉施設の在り方について</p> <p>(1) すこやか両津の一時移転に向けた地区説明会での意見と回答は</p> <p>(2) 令和7年3月4日に開催された「令和6年度第3回佐渡市高齢者等福祉保健審議会兼第1回佐渡市地域密着型サービス運営委員会」において、すこやか両津の一時移転について、委員からはどのような意見が出されたか</p>	佐藤 定
2	<p>1 財政について</p> <p>(1) 資金調達について、周辺自治体と比較して有利な調達を行っているか</p> <p>(2) 資金運用について、運用益と見合いの調達金利支払額の差はどうか</p> <p>(3) 運用方法について、預金、債券、現金、各々幾らか</p> <p>(4) 資金運用は個別運用か、一括運用か</p> <p>2 医療について</p> <p>(1) 佐渡総合病院は看護師不足で緊急性の高い患者以外の入院制限をしていたが、現状どのようになっているか</p> <p>(2) 看護師確保のための政策をどのように実施していくか</p> <p>(3) 佐渡看護専門学校が募集停止し、看護師を目指す学生に様々な支援を検討すると答弁があったが、具体的な支援策と学生に向けた説明会の時期は</p> <p>(4) 佐渡総合病院の産婦人科の体制について</p> <p>(5) 助産師を目指す方に支援できないか</p> <p>3 佐渡市と佐渡市社会福祉協議会の災害協定について 新潟県と新潟県社会福祉協議会が新潟県災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定を締結したが、佐渡市と佐渡市社会福祉協議会の災害協定の進捗状況について</p> <p>4 ふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税のコース選定と、納税後の広報について</p> <p>(2) クラウドファンディング型ふるさと納税の新設</p> <p>5 商店街のアーケードについて 老朽化した商店街のアーケード解体に対する支援について</p> <p>6 佐渡汽船について</p> <p>(1) 2024年度輸送人員の評価と分析</p> <p>(2) 船舶の更新について</p> <p>7 宿泊税について</p> <p>(1) 佐渡市宿泊税検討会議の結果を受けての市長の方針は</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて</p>	平田和太龍
3	<p>1 佐渡の各地のまつり及び夏祭りの観光資源化について</p> <p>(1) 各地のまつり及び夏祭りを市ではどのような位置づけで考えているのか 地域振興面・観光資源面・地域力向上面(災害対応・福祉)の観点について</p> <p>(2) 特に市の補助金が入っている夏祭りについて、費用対効果及び経済効果をどのように分析しているのか</p> <p>(3) 営利目的ではなく、存続のために夏祭り自体が収益を上げられるようにならないと真の意味での持続可能にはならないと考えるが、市長はどのように考えているか</p> <p>(4) 各地のまつり(神社等の例大祭に伴うもの)の観光資源化への現在の市及び、市が補助金を支出している佐渡観光交流機構についての検討状況はどうなっているか</p>	川原 茂

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>(5) まつりの観光資源化への現在の課題は何か</p> <p>2 各種補助金の使われ方について</p> <p>(1) 各種補助金の予算執行率及び数値目標の達成状況を市長はどう受け止めているか</p> <p>(2) 上記の結果に対し、課題の分析・対策の進捗状況はどうなっているか</p> <p>(3) 補助金については、そもそも分かりづらいと市民の皆様から声が寄せられているが、周知方法及び市ホームページでの検索に問題はないか</p> <p>(4) 書かない窓口で行っているフローチャートは便利だと感じたが、一つの対策にはならないのか</p> <p>(5) 補助金申請に補助金のスペシャリストたる専門員が市に必要と考えているが、市長の見解はどうか</p> <p>(6) 団体等の補助金申請時の事務局の属性について調査したことはあるか</p> <p>(7) 事務局の担い手がいなければ、行政書士等の法律家に依頼し、報酬を払ってでも利用できないよりはよいと考えるが、市長はどのように考えるか</p> <p>3 市の広聴機能について</p> <p>(1) 現在の地域相談員の配置状況はどうか</p> <p>(2) 支所・行政サービスセンターでは人員削減が進んでいると聞いているが、この広い佐渡で支所・行政サービスセンターの広聴機能は有効に働いているのか</p> <p>(3) 地域相談員及び職員が広聴したことにより解決した地域課題や実現した政策の成功例と考えるものはあるか</p> <p>(4) 広聴した地域課題を解決に導くため、地域おこし協力隊の募集を支所・行政サービスセンター単位でかけていたが、現在は行われていない。その理由は</p> <p>(5) 広聴機能にかける予算は現状のままでよいのか。役職定年のベテラン職員を広聴機能強化として地域相談員に回すことも一つの方法と考えるが、市長の見解を問う</p>	川 原 茂
4	<p>1 加茂湖について</p> <p>(1) カキ漁獲量が大幅に減少した原因分析や対策について</p> <p>(2) 観光資源としての加茂湖の今後の展望について</p> <p>(3) 新潟県が行う両津港埠頭工事に関する影響と、市としての受け止めについて</p> <p>2 市職員の働き方について</p> <p>(1) 業務に使用する物品が適切に貸与されているか</p> <p>(2) ハラスメント・コンプライアンス等の向上のための外部通報窓口設置について</p> <p>3 レンタル事業を行っている竹破碎機の果樹剪定枝への流用について</p> <p>(1) 竹破碎機のレンタル実績について</p> <p>(2) 果樹剪定枝への流用可否について</p> <p>4 道路整備等について</p> <p>(1) 景観向上のための白線引き直し等について</p> <p>(2) 県道を含む道路修繕やトンネル内の照度向上に対する市のスタンスについて</p> <p>5 指定ごみ袋の処理券化について</p> <p>(1) 現状の進捗状況について問う</p> <p>(2) 資源ごみ袋の廃止によるコスト・環境面における実績について</p> <p>(3) 市民への意見聴取やその反映について</p>	村 川 拓 人

順	質 問 事 項	質 問 者
4	<p>6 大学と当市との連携状況について</p> <p>(1) リカレント教育等での大学の活用状況について</p> <p>(2) 学び直しだけではなく、現役世代が島内で働きながら通信制大学で学ぶメリットについて</p>	村川 拓 人
5	<p>1 農業振興について</p> <p>(1) スマート農業の拡大・普及について</p> <p>① スマート農業が佐渡の農業に与える影響について、市の見解を問う</p> <p>② スマート農業技術の導入に対する支援策を問う</p> <p>(2) 米の増産とふるさと納税へ取り組む事業者への支援について</p> <p>① 佐渡市内でふるさと納税に米を返礼品として提供している事業者の数と、その効果について、市はどのように認識しているか</p> <p>② 米の生産目標数量配分について、佐渡市内の地域においては配分面積に余剰があることなど、現状どのような課題を認識しているか</p> <p>③ ふるさと納税に取り組む事業者に対し、配分面積の別枠配分などにより米の増産を支援することが有効と考えられるが、市の見解を問う</p> <p>(3) 農業者等とECサイト運営企業の連携による、ふるさと納税と生産性向上について</p> <p>ふるさと納税に取り組むECサイト運営企業と農業者等の連携を促進することにより、ふるさと納税寄付額の増加と農業者等の生産性向上につながると考えられるが、市の推進方針を問う</p> <p>2 佐渡市役所におけるハラスメント根絶に向けた実効性ある取組について</p> <p>(1) ハラスメント根絶に向けた取組の重要性について、市長の見解を問う</p> <p>(2) ハラスメントの実態把握と周知啓発について</p> <p>① 昨年度教育委員会において実施した職員向けのハラスメントに関するアンケート調査の結果について、詳細な分析と課題認識について問う</p> <p>② 定期的な研修の実施状況、その内容と受講率について</p> <p>(3) 相談体制の強化と被害者保護について</p> <p>① ハラスメント相談窓口の利用状況について、件数と相談内容の傾向を問う</p> <p>② 相談者のプライバシー保護や不利益取扱いの防止について、どのような措置が講じられているか</p> <p>(4) 再発防止策について</p> <p>① 加害者への再発防止のための指導、研修等の具体的な取組について問う</p> <p>② ワークライフバランス向上によるストレス軽減がパワハラ防止に効果があると考えられるが、市としての取組はあるか</p> <p>(5) カスタマーハラスメントについて</p> <p>① 対応件数や内容について</p> <p>② 職員が不当な要求や言動に直面した際の対応マニュアルはあるか</p> <p>③ 具体的な支援体制や抑止対策は行っているか</p> <p>(6) セクシャルハラスメントについて、被害者が安心して相談でき、適切な支援を受けられるよう、専門性を持った相談員の配置や外部機関との連携は行われているか</p> <p>3 佐渡市における聴覚障がい者の情報保障とユニバーサルな環境整備を通じた共生社会の実現について</p> <p>(1) 佐渡市が目指すユニバーサルな共生社会の姿について</p> <p>全ての市民が安心して自分らしい生活ができるユニバーサルな共生社会の実現に向けて、今後どのようなビジョンを持ち、具体的な施策を推進し</p>	坂下 真 斗

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>ていくのか、市長の考えを問う</p> <p>(2) 観光・商業施設におけるユニバーサル対応の推進と意識啓発について</p> <p>① 聴覚障がい者を含む多様な障がいのある方々への理解を深め、適切なコミュニケーション方法（筆談、指さしボード等）を促すための啓発活動や支援策を計画しているか</p> <p>② 世界遺産等で英語ガイドの育成が進んでいるが、手話ガイドの育成についてはどうか</p> <p>(3) 手話通訳者の確保と手話学習機会の拡充について</p> <p>① 手話通訳者の増員を検討しているか</p> <p>② 市民が気軽に学習できる機会の拡大について市の見解を問う</p> <p>(4) 災害時における聴覚障がい者への情報保障と避難所環境の整備について</p> <p>① 聴覚障がい者へ確実に情報が届くための具体的な対策とその周知徹底がされているか</p> <p>② 避難所運営側が、聴覚障がい者の存在を認識し、適切な配慮ができる仕組みが導入されているか</p> <p>③ 避難所における補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の受入態勢が取られているか</p> <p>(5) 手話と聴覚障がい者コミュニティの活性化について</p> <p>① 市職員向けの手話研修や学校教育における手話体験の導入など日常的に手話を使う機会を増やすための計画があるか</p> <p>② 聴覚障がい者が地域で孤立することなく、気軽に集い、交流できる場や機会をどのように支援していくか</p>	坂下真斗
6	<p>1 物価高騰対策の消費税減税、令和の米騒動についての見解は</p> <p>(1) 消費税が5%に減税となった場合の地域経済への影響をどう見ているか</p> <p>(2) 消費者米価の安定と再生産可能な生産者米価への農政の転換は大きな焦点だが、どう考えるか。佐渡の農業は深刻だが、地域農業振興策は何か 南魚沼市のような「農業用機械整備支援策（補助）」を検討すべきではないか</p> <p>2 柏崎刈羽原発再稼働について</p> <p>(1) 再稼働に関する新潟県民投票条例の直接請求が否決されたが、その見解は</p> <p>(2) 2024年の資源エネルギー庁による県内28か所の説明会の佐渡市で出された市民の意見をどう捉えているか</p> <p>(3) 5月16日に公表した新潟県の重大事故が起きた場合の被曝線量シミュレーションをどう捉えているか</p> <p>(4) 県知事は市町村長等の意見も聞き、再稼働の是非を判断すると言われていたが、市長はどうするのか</p> <p>3 水害、土砂災害への備えについて</p> <p>(1) これから出水期を迎え、梅雨前線や台風等に伴う豪雨により、河川の氾濫や土砂災害発生の危険性が高まるが、万全を期しているか</p> <p>(2) 全国的に局地的な集中豪雨による洪水や土砂災害が全国的に頻発している。佐渡は流路が短く、急流河川が多く存在しており、「本市においても市民の生命、財産を守るため、災害に備えた公共土木施設の整備が必要」、「市民の安全が確保できるような河川整備が必要」としてきたが、状況はどうか。また、河川等の浚渫への取組はどうなっているか</p> <p>4 投票所の再編について</p> <p>(1) 投票所の再編は事実上の削減だが、参政権の保障の観点から慎重である</p>	中川直美

順	質 問 事 項	質 問 者
6	<p>べきだが、対象地域との協議内容はどうなっているか</p> <p>(2) なりすまし投票防止、投票の秘密・自由意志の投票の確保の点で、巡回投票制度等の活用を重視すべきではないか。特に、一人では投票所に行けない障害者や高齢者への対応はどう考えているか</p> <p>5 佐渡市行政運営改革ビジョンについて</p> <p>(1) 今年度の施政方針の大きな柱の佐渡市行政運営改革ビジョンは、プライマリーバランスゼロ等と表現し、市民からは、分からない、不安という意見が多く、これでは市民との協働による市政運営にならないのではないかと。市民に分かりやすく伝えるべき</p> <p>(2) 歳入と歳出のバランスと考えるならば、大きな課題は何か</p> <p>(3) 上下水道料金の値上げはどうか</p> <p>6 生涯学習について</p> <p>(1) 教育委員会のスポーツ、文化分野の事務が観光関連部に移行したが、市民のスポーツ、文化関連はどうか</p> <p>(2) 生涯学習の推進体制はどうなっているのか</p>	中川直美
7	<p>1 国民健康保険税の軽減について</p> <p>(1) 物価高騰が止まらず、消費者物価指数も年々上昇している。特に国保加入者は厳しい状況に置かれており、国保税の負担が大きくなっている。市長の認識を問う</p> <p>(2) 国保税軽減のための施策を求めると、どうか</p> <p>(3) 18歳以下の子どもの均等割額の減免を第1子から求めるが、どうか</p> <p>2 マイナ保険証について</p> <p>マイナンバーカードの有効期限及び電子証明書の有効期限が重なり多数の更新が予想されている</p> <p>(1) マイナンバーカード保有数・率、健康保険証登録数・率、マイナ保険証の窓口利用率を問う</p> <p>(2) マイナ保険証の有効期限切れによるトラブル状況を問う</p> <p>(3) 国保加入者全員に資格確認書の交付をすべきでないか</p> <p>3 子ども医療費無料化について</p> <p>子ども医療費無料化が進んでいる。当市における通院費の窓口での一部負担金をなくすべきでないか</p> <p>子どもが元気な佐渡が島（たからじま）条例施行規則の「子どもが健やかに成長するための環境整備に必要な施策」に該当し、子育てしやすい市として人口減少の歯止めの一助になる。市長の見解を問う</p>	栗山嘉男
8	<p>1 大平高原の旧売店2棟、公衆トイレについて問う</p> <p>(1) 以前の売店経営者に賃貸借契約を確認したか</p> <p>(2) 登記簿・地籍図・固定資産税を確認したか</p> <p>(3) 公衆トイレを改修する予定はあるか</p> <p>2 能登半島地震について問う</p> <p>(1) なぜ真野小学校体育館が避難所になったのか</p> <p>(2) 市内の計画していた避難者数と実際の人数は</p> <p>(3) 避難所以外、自宅に避難した人への対応は（トイレ、水等）</p> <p>3 真野ふるさと会館、真野行政サービスセンターの現状を問う</p> <p>(1) 真野ふるさと会館の駐車場を舗装すべきだが、どうか</p> <p>(2) 真野行政サービスセンターをどのように利用するか</p> <p>4 金山の坑道から基準値以上の水が海に流れていないか</p> <p>5 小中学校施設の修繕計画を問う</p>	山本健二

順	質 問 事 項	質 問 者
8	体育館の雨漏り、校舎の修繕等 6 白雲台の壁、外の周回道（ベランダ）の修繕は終わったのか 7 佐渡汽船について問う (1) 佐渡汽船株主優待券を佐渡市の職員が利用できないか (2) 小木ー直江津航路の朝一便を小木発にできないか 8 佐渡市の組織について (1) 職員の事務引継ぎがしっかりできているか (2) 組織が縦割りになっていないか。各課の連携はしっかりしているか (3) 職員に早期退職者が多いのはなぜか 9 相川地域の補助事業の実績について問う ホテル、飲食店等への補助事業の実績について 10 雇用機会拡充事業の雇用者数、ローカル 10,000 プロジェクトの実績について問う	山本 健二
9	◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする 1 柏崎刈羽原発の再稼働を巡る佐渡市の考え方について (1) 柏崎刈羽原発があることの佐渡市、また佐渡住民の経済的利益・不利益は幾らであると試算しているか (2) 原発再稼働による経済的利益・不利益は幾らであると試算しているか (3) 原発事故に巻き込まれた際の長期にわたる経済的利益・不利益を幾らであると試算しているか (4) 島内放射線量はどこで計測しているか。その公表はどのようになっているか (5) 事故時の放射能雲の流れのシミュレーションを把握し、市民に伝えるべきではないか (6) 事故時の避難訓練をすべきではないか。その計画はどうなっているか 2 佐渡市の新たな法定外税の検討について (1) 昨年度の佐渡市宿泊税検討会議の報告はどのようなものであったか (2) 検討会議のタスクが「宿泊税」であったため、島民の生活者目線がなかったのではないかと。今後、議会をはじめ、島民に説明をし、意見を聴取した上で、新たに法定外税の議論ができる場を設けるべきではないか (3) 検討会議の議論の報告は「目的税」の性格が強い印象があるが、入島税・訪問税であるなら「普通税」の性格として議論を進めるべきでないか 3 博物館業務と世界遺産推進業務の連携について (1) 相川郷土博物館の学芸員数を更に充実させるべきではないか (2) ガイダンス施設きらりうむ佐渡では、どこに行けば現場や具体的資料が見られるか、案内できているか (3) 世界遺産の価値として、特に伝統的手工業の一部である灰吹法と焼金法について、具体的に分かる説明資料が見られるよう整備すべきではないか (4) 様々な役割を担った職業人の生業の様子が分かる町の見せ方が不足しているのではないかと (5) 博物館が保管・所蔵する具体的資料の整理はどこまで進んでいるのか。市民ボランティアの力を借りる工夫はどのくらい進んでいるか 4 子どもへの性暴力防止について (1) 佐渡市の子どもの性暴力防止の取組はどうなっているか (2) 家庭内で起きる性暴力への対応について (3) 校内で起きる性暴力への対応について (4) デジタル性暴力への対応について	荒井 眞理